

Construction Map

『建設マップ』サービス

建築計画をGoogleマップで一覧できる
“未来の地図”が誕生

サービスの特長

- 中大型案件を主体に建設地を地図上で表示
建築計画情報を可視化
- スタッフが現場を巡回
現場風景や
工事看板も撮影
- 毎日更新で新鮮な情報を提供
取材から情報の提供まで
ICT を積極活用
- 使いやすさにこだわった仕様
CSV 出力にも対応
- 関西2府4県の広域に対応
都市部を高頻度に更新



利用料
(1IDあたり)

月払い

月 **5,000**円 (税別)

年払い

年 **50,000**円 (税別)

年払いなら年間で**2ヶ月**もお得!

建設ニュース



建設ニュース

「建設マップ」は、どこに、どんな建物がこれからできるかという建築工事情報を、Googleマップ上で確認できるプロフェッショナル向けの有料サービスです。毎日更新される情報の新鮮さに加え、関西2府4県の広域を対象とし、建物用途や規模、建設地、建築主などで検索も簡単。地図上で建設地を表示可能なほか、取材時に撮影した現場風景や工事看板の写真を確認できます。 ※「Googleマップ」は、Google Inc.の登録商標です。



ユーザーの声



「建築計画が地図上で一覧でき、まちの変化が一目瞭然」(不動産・企画)



「調査対象の周辺分析の時間を短縮でき、助かっています」(金融・営業)



「“未来”を加味したマーケティングが可能になりました」(小売業・企画)

サービスの特長

■ 中大型案件を主体に建設地を地図上で表示

延べ2000平方メートル以上の案件を主体に、地図上で建築工事の場所を表示できます。従来は地番から建設地を特定するのに手間がかかりましたが、その時間とコストを削減、案件ごとに地図上で確認できるほか、検索で絞り込んだ複数の案件をまとめて地図上に表示することも可能です。

■ 毎日更新で新鮮な情報を提供

取材から情報の提供までのプロセスに最新のICT(情報通信技術)を積極的に活用し、スピーディーな配信を実現しています。さらに、週末には1週間分の新規追加データをExcel形式でメールによって配信を行っております。

■ 関西2府4県の広域に対応

建築工事の活発な大阪市、神戸市、京都市などの都市部を高頻度に更新する一方、情報の網羅性にもこだわっています。関西2府4県の大部分を対象とし、基本的に戸建て住宅を除く延べ300平方メートル以上の建築工事の情報を提供します(自治体によって一部例外があります)。

■ スタッフが現場を巡回

大型案件を主体にスタッフが現場を巡回し、建設地と地図上の表示がずれていないかを確認するとともに、現場風景や工事看板を撮影、案件ごとに現場の写真を表示します。建築工事ごとの詳細ページだけでなく、地図上でも写真を見ることができます。

■ 使いやすさにこだわった仕様

データベースは使いやすさにこだわり、検索も容易で、必要な情報に瞬時にアクセスできます。検索条件は、建築主、設計者、施工者、主要用途、構造、階数、延床面積、建設地、工期など15項目で設定できますCSV出力機能も特長で、Excelを使ってご自身でデータを加工することが可能です。

利用料 (1IDあたり)

年払いなら年間で**2ヶ月**もお得!

月払い

月 **5,000円** (税別)

年払い

年 **50,000円** (税別)

※ 決済方法はクレジットカード、銀行振込、口座振替の3種類を準備しています(個人のお客様はクレジットカード決済のみ)



建設ニュース

株式会社建設ニュース

本社:大阪市北区西天満3-5-10 オフィスポート大阪

設立:2014年8月1日
資本金:1,500万円

電話番号:06-6226-8526(代表)
URL:www.constnews.com